



かたくり

令和3年2月
61号

冬の世代間料理教室を開催しました



山都暖友クラブと矢部高校家庭クラブの皆様

12月9日、矢部高校にて冬の世代間料理教室を開催しました。

始めに町の藤岡管理栄養士から山都町の現状を踏まえた、栄養バランスについてのお話があり、参加者から「今晚の食事から見直してみようと思う」などの声があがりました。その後、料理教室ではミートソーススパゲッティをメインに、皆さん楽しみながら調理をされていました。調理後の参加者からは「やっぱり一人で食べるよりも誰かと食べたほうが美味しい」「手作りはやっぱりいい」などたくさん感想が出ており、今回も大盛況にて終了いたしました。

※コロナウイルス対策は万全にて開催しています。



会長挨拶

梅田 穰



新年あけましておめでとうございます。本年も町民の皆様と共に地域福祉の推進に取り組んで参りますのでよろしく御協力をお願いいたします。

昨年の新型コロナウイルス発生は日本を含め世界中に猛威を振るっており、終息の兆しが見えない状況が続いています。期待と希望を持って待ち望んでいました2020東京オリンピックの延期を始め、多くの行事や計画が中止や延期を余儀なくされた一年でした。

本年はワクチンの接種が早く始まり、治療薬が一日でも早く開発され、発生拡大が抑えられる事を皆さんと共に強く望みたいと思います。まずは一人一人が家族の方々、そして地域の方々が感染しない様に三密を避け、手洗い、うがい、マスクの着用を徹底し、新しい生活様式の中で生活をしましょう。

12月下旬、障がい児・者の進路保障を考える「若竹の会」の方々が運営されているアルミ缶回収所でのアルミ缶圧縮作業の様子を見せていただきました。1992年から約30年近く家族会、ボランティア等々の10名近くの方が毎月1〜2回作業を行い、障害を持つ人もそうでない人も安心して暮らせる地域社会を目指して活動を続けて居られることに非常に驚き感銘を受けました。

これからも長く続けられる様、町民の皆様にはアルミ缶の回収に協力して戴きたいと思っております。

最後に、コロナ禍の中で日頃の活動も制限され、厳しい時期が続くかと思いますが、町民の皆様にとりまして幸多き年となりますように祈念し、年頭の御挨拶いたします。

矢部高校林業科学科 手作り積み木 寄贈

12月11日に矢部高校林業科学科より手作り積み木を寄贈していただきました。

当日は、林業科学科の生徒さんと支援ハウス入居者の方が実際に手作り積み木で遊びを楽しみながら、使い方の説明を受けていました。

積み木には文字も刻まれており、とても凝った造りになっています。

いただいた手作り積み木、大切に使用させていただきます。



地域の見守りについての懇談会

現在、社協の取り組みの一つとして地域の見守りについての懇談会を行っています。民生委員やシルバーヘルパー、福祉委員の日頃の活動における悩みや解決に向けてのアイデア、地域の現状・情報共有、住民主体で行う今後の地域での見守り活動等についての話し合いが行われています。顔を合わせ、意見を交わすことで、連携の必要性やそれぞれの役割を再確認する機会となっています。各地区、随時懇談会を行っていく予定です。



各地区の紹介

今年度はコロナウイルスの影響もあり、地域での活動が難しい現状にありますが、そんな中でも工夫を凝らして活動を行っている地域の方々がいっぱいありましたので、取材させて頂きました。

清和地区

米生地区 ほつき作り
米生地区のふれあいサロンでは年末に向けて、ほつき草を使ったほつき作りが行われました。例年、しめ縄づくりを行うのですが、今年度はほつき作りを行ったそうです。繊細さだけではなく、力技も必要とされるほつき作り、参加した職員は苦戦しつつも楽しみながらほつき作りを行っていました。完成したほつきはコロナを払うという願いを込めて「アマビエほつき」と名付けられ、各家庭に持ち帰られました。



矢部地区

元気の源〜ぼつてん会〜

目丸（屋敷）地区では、四年前から月に2回、カラオケ好きの皆さんが公民館に集まりカラオケを楽しまれています。「ぼつてん会」の名前の由来には、「忙しかばってん好きなことを楽しむ」という意味が込められているとのこと。会のモットーは、「カラオケ好きが高じてついつい会が長引いてしまうことから、「家族に迷惑を掛けない程度に」また、「お互いに褒め合うこと」なのだとか。「足腰痛いけど歌ったら良くなる」「家族はいるけど昼間は一人。ここに来て皆と話すのが一番」と話される皆さんの生き生きとした表情、そして力強い歌声にこの会がまさに元気の源であるように感じました。
(※現在はコロナウイルス感染拡大防止の為、休止されています)

次は何ば歌おうかな〜♪

皆さんで持ち寄られた料理も豪華☆★



蘇陽地区

世代間交流 〜ももり〜

11月11日に大野老人会と蘇陽南小学校4年生の世代間交流が行われました。晴天の下、げんきいっぱいの子どもたちが楽しそうに蔦を切り、いもを掘る姿とそれを優しく見守り手伝う老人会のみなさんの姿にとても癒されました。
後日、老人会のみなさんが収穫した芋を使っていきなり団子を作られ、蘇陽南小学校に届けられたとのことです。
この様な世代間交流の場は大切にしていきたいものです。



「(株)セブン-イレブン・ジャパン様より
商品寄贈をいただきました。」

(株)セブン-イレブン・ジャパン様より生活に困難を抱えた個人・世帯への支援や地域福祉の推進を図ることを目的として、商品を寄贈いただきました。

いただいた商品は山都町社協を通して必要とされる方々のために活用させていただきます。



愛の一円玉募金

12月17日、蘇陽事務所にて愛の一円玉募金贈呈式が行われました。山都町老人クラブ連合会蘇陽支部の安永支部長より233,544円の目録が手渡されました。コロナ禍で大変な中、募金活動をしていただき、誠にありがとうございました。



掲 示 板

第三者評価委員紹介



左から
奈須豊子さん 藤原秀治さん 杉本春子さん

福祉サービスの質の向上や苦情解決に適切な対応を推進するため、山都町社協では第三者評価委員を3名の方に委任して頂いています。公正・中立な立場で相談に応じていただきます。

日々の生活の中での
不安や困りごとをお聞かせください。

仕事のこと、生活費のこと、子ども・家族のこと、住まいのこと等、一人ひとりの状況に合わせた支援を専門機関・団体と連携して、解決に向けた支援を行います。

一人で抱え込まずに、社会福祉協議会へご相談ください。

相談は無料、プライバシーは守られます。

赤い羽根共同募金

令和2年度実績

募金の種類	件数	金額
戸別	4,338	1,922,000
法人	15	123,000
学校	1	5,583
職域	4	78,158
その他	3	18,702
合計	4,361	2,147,443

【令和2年12月末現在】

10月1日～12月31日まで山都町共同募金委員会では、戸別・職域・法人・学校・募金箱等にて募金をお願い致しました。住民の皆様のおかげで協力に心からお礼を申し上げます。実績については次号にてお知らせいたします。

令和2年度
社協一般会費納入状況報告

本年度も町民の皆様から1戸千円の社協会費をお願いしました。納入頂いた会費は「住民主体」の原則のもと、社協が実施する地域福祉諸活動に役立てていきます。

ご協力ありがとうございました。

【令和2年12月末現在】

4,409戸
4,393,000円



平素より社協広報誌かたくりをご愛読くださりまして誠にありがとうございます。かたくり 第60号に掲載させて頂いた、令和元年度 山都町社会福祉協議会 特別会員紹介の記載に誤りがございましたので、下記の通り訂正させていただきます。

ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

代表者名 (正)「野田秀喜」 (誤)「野田秀樹」

会社名 (正)「(福)明光保育園」 (誤)「(社)明光保育園」

※この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金および社協会費、寄付金の一部で作成しています。